

市民の声をまちづくりに

まちづくり基本条例検討会議

「糸島市の憲法」ともいえる市の最上位の条例「まちづくり基本条例」。その素案をつくる第1回検討会議を12月17日、市役所会議室で開催。30人の市民委員による検討を開始しました。

市長は「まちづくりは、行政と市民が一体となつて進めることが重要。行政と市民など、役割と責任を明確にしながら展開していくことがたいせつ」とあいさつで述べました。

会議では、今後のまちづくりのあり方や規範づくり、ルールづくりなどが検討されます。



30人の市民委員が、糸島市の新しいルールを検討開始

ジュニアリーダーと遊ぼう

南風校区子ども会育成会

12月18日、校区のジュニアリーダー（中・高校生）と小学生がレクリエーションをおして交流する「ジュニアリーダーと遊ぼう」が南風小学校と公民館で開催されました。

この日は、100人以上の子どもたちが参加し、ゲームや宝物探し、ホットケーキ作りなど、楽しく遊び、交流しました。

ホットケーキ作りでは、ジュニアリーダーや校子連の保護者たちが作り方を指導。焦げ付かないよう、真剣に取り組んでいました。



ジュニアリーダーのお姉さんが焼き方のコツを教えてくださいました

餅つきをとおして楽しく交流

九州大学留学生との交流会

日本の伝統行事をとおして、九州大学の外国人留学生とふれあう交流会が12月18日、東風公民館で開催されました。

今年で5回目を迎えるこの交流事業には世界の国々から53人の外国人留学生が参加。恒例の餅つきなどを体験しながら、地域のみなさんや子どもたちと交流を深めました。

餅つきを初めて体験する留学生も多く、勢い余つて、杵を折るハプニングもあり、笑いの絶えない交流会となりました。



息を合わせながら、2人での餅つきに挑戦する留学生たち

福井神楽を白山神社に奉納

厳寒の中の夜神楽

二丈の福井白山神社で1月1日未明、五穀豊穰や家内安全などを願う年越しの夜神楽が奉納されました。

明治20年から続くこの伝統行事は、福井神楽保存会によつて守られており、今回は『米巻』や『火鬼』、『手力王の尊』など全部で5演目が奉納されました。

オレンジ色の炎で会場を照らす松明が燃える中、繊細かつ迫力のある舞で観客を別世界へと誘っていました。



神話の須臾鳴雄尊（すさのおのみこと）の舞「火鬼（かつき）」

年末の防災・防犯を呼び掛ける

糸島市消防団年末警戒

暮れも押し迫った12月30日、糸島市消防団による年末警戒が実施されました。分団ごとに消防車で校区内を巡回し、拡声器を使って防災防犯を夜遅くまで呼び掛けました。

また、各行政区の消防団員も地域の詰め所に集合。行政区によつては、地域役員や消防団OBなども参加し、警戒にあたりました。

この日は、寒波の影響で風と雪が激しい中、消防団員が消防車で各行政区の詰め所を訪れ、人員報告などがキビキビと行われていました。



団長など、消防関係の幹部が各分団を巡回（写真は、一貴山分団）